

## Title: 「Carry that weight」



野尻 浩行  
栃木市出身の24歳。  
後悔のない旅にしたいです。  
そして丈夫な体になって帰ってきたいです。

## ● 最近のエントリー

- ☑ 20日間 (2010.06.29)
- ☑ デリーの糞 (2010.06.20)
- ☑ カチューシャ付けました (2010.06.12)
- ☑ おつかれさまでした 1 Part2 (2010.06.11)

## ● アーカイブ

- ☑ 2011年01月
- ☑ 2010年09月
- ☑ 2010年07月
- ☑ 2010年06月
- ☑ 2010年05月
- ☑ 2010年04月
- ☑ 2010年03月

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

**OLYMPUS**  
Your Vision, Our Future



「Carry that weight」 > 2010年06月 アーカイブ

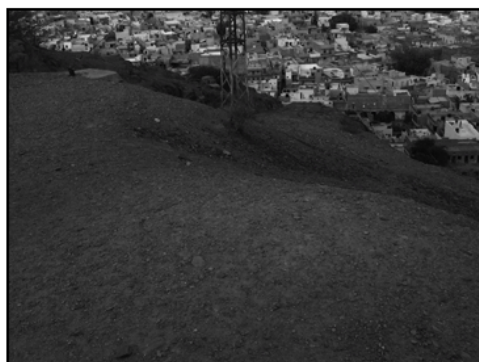
10.06.29

20日間

[Tweet](#)

[Check](#)これから集合地のデリーへと出発する。

これまでで最も暑かった9日間が終わった。



見えないものを見ようとしてファインダーを覗き続けた20日間。  
もう続けられないと、叫びたくなる時もあれば、こんな写真撮りたかったんだと思える瞬間に出会うこともあった。

もっとできた。でもその事実を見ないフリして、後悔することも忘れようとしている自分がいる。いつからこんなに上手くなったんだろう。

思えば、ほんとうに無茶なことをやっている。  
自分は、だれかに見せられるものは持っていない。  
なのに、写真で自分自身を表そうとしている。  
でもこれ以外のことをやれと言われても、いまの自分ではできない。

いまやっていることを終えなければ、次のステップに行けない。  
だから、みっともないことでも続けなきゃいけない。

その覚悟が、写真に表されていない。

ほんとうに大切なことは、自分のすべてをかけてでも手に入れなければいけないと思う。  
すべてを出し切っても手に入らないかもしれないのに、どうして出し惜しみができるだろう？

吐いていい嘘と吐いてはいけない嘘があると、自分はたくさんの吐いてはいけない嘘を吐いてきたんだと気付いた。

そんなインドの20日間だった。

カテゴリ：

post by 野尻 浩行 | 日時: 2010.06.29 | [バーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「Carry that weight」](#) > 2010年06月 アーカイブ

10.06.20

## デリーの憂鬱

[Tweet](#)

[Check](#)なにを書いたらいいのやら・・・

現在、無気力状態です。

普段のブログのテンションまで上げられそうにない。  
デリーでの近況は至って地味なもので、自分の撮影テーマについて書きます。  
テーマについて





歩いていると言いきってくる(しつこい)インド人は今回の滞在でも最もやっかいな事柄のひとつ。

彼らの目的は、金くれとか、これ買えとか、それよこせとか、写真撮ってくれとか。  
ちなみに今日は、50ルピーくれないと警察呼ぶよ?と脅されました(当然無視です)。

そんななか、インドの名所を執拗に動めてくる人がいます。  
そんな彼らに、観光に来てるんじゃない仕事(撮影)で来てるんだと、言ってもなかなか引き下がってはくれません(おかげではっきりと断れるようになったけど)。  
彼らがなにを撮ってるんだと聞いてきたら、会話が長くなります(うまく説明できないから)  
そんな内容のテーマですが、読んでくれる方に理解いただけるようがんばります(前置き長くてごめんなさい)。  
メンバーそれぞれテーマがあります。環境問題、子供、貧困、旅、田舎、市場、畑、日本人、名所(テキトーでごめんなさい)  
旅をテーマにしているのは遠藤、野尻の2人(遠藤のテーマについては遠藤のブログで)。

野尻の旅は、旅先での自分の心情を撮る写真です。  
撮るものは、人や風景などなんでもあり。  
ですが、写そうとしているのは自分の心情です。  
これからは、こいつの写真にはこいつ自身が写ってるのかと思っただければと思います(そうじゃない写真もアップしていきますが)。

さてさて、近況を書けなくて、苦し紛れにテーマについて書いてきました。

#### コルカタについて

コルカタで話の種になることと言ったら、宿がゴキブリの巣窟だったことと、ベッドの上をネズミが這っていたことくらい。

日常から逸脱した状況って、意外と冷静になれるもので、的確な処置の下にネズミは部屋から駆除されました(愛用のスニーカーは数多の生き物の血を吸い、呪いの装備となりました)。

内容に乏しくて申し訳ない。  
今回はジョードブルからアップします。





写真を撮ってくれと、よく頼まれます。

気軽に撮らせてもらえるのはインドのとてもいいところ。

カテゴリ：

post by 野尻 浩行 | 日時: 2010.06.20 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「Carry that weight」](#) > 2010年06月 アーカイブ

10.06.12

## カチューシャ付けました

[Tweet](#)

[Check](#) 昨日、みんなインド各地へ旅立ちました。

見送りって、あとから寂しくなります。

こんなことなら、自分もどこかに移動するんだった。

というわけで半分ヤケソ気味に髪を切りました。



ヘアメッセージ・・・

カンボジアにいたころから切りたいかったのですが、時期を逸してここまで引っ張った髪はインド人にナイスヘアとお褒めの言葉を頂きました。

でもそんなの関係ないっす。切りまっす。



けっこう普通になっちゃいました。前髪バツン。襟足はなぜか斜めです。もみあげはとても気を配っていたなのにどうして??

どうしたインド、そんなものなのか? 台湾のおばちゃんを凌駕する散髪屋はインドのどこにあるのでしょうか。

切られてる最中から、普通過ぎて落胆してましたが、おじさん（おじさんというにはたぶん若すぎる）がマッサージを勧めてくれました。

おじさんのマッサージは結果的によかったです。顔をおじさんの手でこねくり回されるのは、きつい。

全身マッサージだったらしく、背中や脇も叩いたり揉まれたり。時折シャツのなかにまで手を入れてくるのでぞわぞわします。

そして出ました、謎の機械。



インドの理髪店にこんなものがあると驚きます。  
っていうか、ほとんど使われてないんでしょうね。髭から出すのに手間取ってました。  
そして謎の機械パート2



どうやら顔をいれるものらしいです。  
容器の底では、線香のような香りのする液体が沸々と煮たって蒸気が顔にあたります。  
最初は温いから気持ちよかったけれど、すぐに蒸気で満たされた容器内は灼熱と化し、息ができない。しかも止め時が分からない。あ〜もうだめだと思って顔を出したら、まあこんなもんかとおっさんどや顔。

そして、黄色いなか。

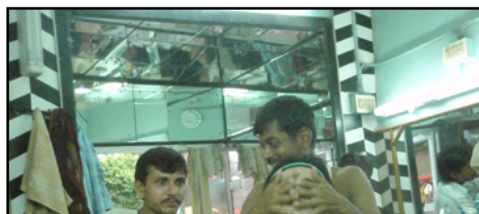


塗られたあと30分ほど放置。ヒマだったのでふざけてます。

おじさん自分の顔拭いたやつ使い回さないで。  
今回のメニューはこちら  
散髪（というより芝刈り。生涯で最も雑に髪をすかれたあとはウィンブルドンの芝を剪定するかのよう丁寧に行ってもらいました。）  
ひげ剃り（2回）  
マッサージ（頭、顔、肩から背中）  
美容系のなか（謎）  
シャンプー

全部で180ルピーでした。日本円にすると400円かかっていません。

結果的に台湾を超えることはできませんでしたが、インドらしさを肌で感じることはできたかな？





次回は再集合地のデリーを予定しています。

post by 野尻 浩行 | 日時: 2010.06.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(178\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[「Carry that weight」](#) > 2010年06月 アーカイブ

10.06.11

## おつかれさまでした！ Part2

[Tweet](#)

[Check](#)インドはコルカタに到着しました。

コルカタに到着してからは、食べるものはほとんどカレーです。  
チキンカレー、マトンカレー、キーマカレー

早くもカレーに飽きてきました。食事のあとに残る倦怠感は何なのか。

明日からは、メンバーは解散し、個々のテーマに基づいて撮影地へと向かいます（ちなみに自分は引き続きコルカタ滞在です）。

時は遡って、シンガポール写真展のことを

National Geographic Storeで行われた、OLYMPUS μ-TOUGH6010を使った写真展。

韓国からマレーシアまでメンバーが撮影した写真が展示されています。  
浴衣を着て現地のひとに写真の説明をしたり、現地の新聞社と雑誌の方から取材を受けたり、現地の人々のまえでスピーチしたり、海外で写真展を開くなんて、このような機会が設けられなければ自分には訪れなかったでしょう。  
OLYMPUS様、ありがとうございました。  
ビクトリコ様、おかげさまできれいなプリントが展示できました。

写真展会場で聞かれた質問のなかで、最も多く質問されたことのひとつが、コンパクトデジタルで撮って、こんなに大きなサイズにプリントできるものなの？という質問でした。

写真というと、サービスピントのサイズが一般的に普及しているからかもしれません。この機会が、写真の楽しみかたを広げることになるかも。

レクチャーでの様子を写真でお送りします。



大勢の人をまえに(英語で)スピーチするのは、恐らく初めてのメンバーばかりでしょう。  
みんなおつかれ。  
最後にシンガポール中ずっとフル稼働だったウオンさん。



おつかれさまでした！

カテゴリ：

post by 野尻 浩行 | 日時: 2010.06.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「Carry that weight」](#) > 2010年06月 アーカイブ

10.06.08

## おつかれさまでした！

[Tweet](#)

[Check](#) ずいぶん長らくブログのアップが滞ってしまし

た。

明日からインドです。

マレーシアの撮影もすでに1ヶ月近く前の話となってしまいました。

この1ヶ月間は、スクーリング準備、スクーリング、そしてシンガポール写真展とさまざまなイベントが目白押しでした。

スクーリングの準備期間から、これまでの経過を報告しようかと思いましたが、すでに他のメンバーがバラエティ溢れる文と写真で報告を済ませているので、現状を報告するのがいいでしょう。

シンガポールから帰ってきてからの4日間は、あっというまに過ぎて、明日の夜にはインドのコルカタに着いてる予定です。

いよいよインド。

KLのスクーリング施設に来てからというもの、インドのいろんなことを聞く場面がありますが、どれも（自分としては）気が重くなるような内容ばかり。

ときどき、「インド行きたくねえなあ」なんて口にしてしまうメンバーもいたり、、、

でもなんだかんだで楽しめる人たちはです。

シンガポールまでのスケジュールが過密だったために、ここ数日体調を崩しているメンバーがちらほらいます。最も体調が良くないのはFW1 期生、徳田さんなのですが。

とにかくにも明日からインドです。脂っこい中華料理ともしばらくお別れです。それはそれで嬉しいのですが、実際は中華料理がカレーに取って代わるだけのことです。

これから一体どうなってしまうことでしょうか。

冷蔵庫のスイカはいったいつ食べるのでしょうか？

シンガポールの写真展が終わった夜の穂積氏、携帯を握ったまま眠っております。



おつかれさまでした！

カテゴリ：

post by 野尻 浩行 | 日時: 2010.06.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)